

大阪府・大阪市 次期税システム間におけるデータ連携に係るシステム仕様(想定)

資料2

(注) 大阪府・大阪市のシステム仕様は、現時点での想定であり、今後開発段階において変更の可能性がある。

	大阪府	大阪市
文字情報	<ul style="list-style-type: none"> ・Unicodeに統一する。Unicode文字に同定できない文字がある場合は、該当文字を外字として登録する。 ・府外部システムとのデータ連携においては、Unicode文字に内字変換を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Unicodeベースに大阪市独自に開発した「拡張大阪市明朝」フォントセットを利用する。 ・そのため、市外部システム等とのデータ連携においては、外字領域文字の内字変換が必要となる。 ・市他業務システムとのデータ連携、データ移行及び他業務システム再構築スケジュールの観点から「拡張大阪市明朝」を継続利用する。
コード情報	<ul style="list-style-type: none"> ＜住所コード＞ (財)地方自治情報センター製「全国町・字ファイル」 ＜金融機関コード＞ 全国銀行協会提供「金融機関マスタ」 	<ul style="list-style-type: none"> ＜住所コード＞ 富士通製「KUIN2」 ※ 大阪市内の住所辞書については、全国住所辞書を基本としながら地下街等、市税独自の情報も必要 ＜金融機関コード＞ 全国銀行協会提供「金融機関マスタ」 ＜市町村役場便覧＞ 日本加除出版製 ※ 府市間のデータ連携には不要と想定。
データ連携方式	<ul style="list-style-type: none"> ＜媒体連携＞ 利用媒体:LTO、DVD-R、CD-R等 / フォーマット:固定長 文字コード:UTF-8 ※ 府・市税システム間でのデータ連携は、媒体連携で可能と想定。 	<ul style="list-style-type: none"> ＜媒体連携＞ 利用媒体:DVD-R、CD-R等 / フォーマット:固定長 文字コード:UTF-8 ※ 府・市税システム間でのデータ連携は、媒体連携で可能と想定。